

5-2 「日本語教育に関するニーズ」や「技能実習に関するニーズ・イメージ」に関するコメント

- ・技能実習を経験させて、個人スキルをアップさせる事は重要と考えるが、人手不足の影響から時間の捻出をさせるのが困難な状態と判断する。
- ・グループ会社で技能実習生を採用済み。真面目に仕事をしてくれます。
- ・利用者の人命を預かる業務につき、言語コミュニケーションや異文化理解は必須と考える。いざ受け入れを考えると躊躇してしまう。仲介する業者から話を聞いたが、どこまで信用できるか不安がある。
- ・日本語(住所・指名等の漢字)による、CP入力やチェック等に不安がある。
- ・本人からも秩父地区に日本語学校があると良い。
- ・日本語学校があることで、外国の方が移住しやすくなる。
- ・日本語学校があることで、知り合い、家族も声をかけることができる
- ・海外人材の受け入れを行うのであれば、日本語教育は、必要不可欠な内容と思う。日本語は、難しいとされているのに加え、生活習慣など全体的な指導も必要と考えられるので体制の充実が重要。国別の技能実習生の増減による対応等課題は多いと思う。現状では、海外人材の受け入れを考えていないので日本語教育は不要。
- ・技能、技術又は知識の開発途上国等への移転、経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的としている技能実習制度は、ほとんどは目的通りに活用されていると思うが、一部でマイナスイメージな内容が報道されたこともあり、適切に運用されているように感じない。
- ・現在は技能実習生の受け入れをしていないので、当法人ではニーズはない。イメージとしては難しそうである。
- ・人手不足と言われる業種では外国人労働者を積極的に雇用していくといいと思う。
- ・秩父市で率先して日本語教育や研修、福利厚生を充実させて、外国人雇用形式の模範となれば良いと思う。
- ・日本語教育は、短期間での習得は難しいように思います。
- ・弊社では日本語の中でも専門用語を理解できないと無理かと思えます。
- ・おそらく外国人雇用の場合は人材派遣会社をどうしての場合がほとんどなので、そちらで日本語教育まで面倒見て頂けたら助かると思います。技能実習についてもやはり派遣会社で通訳を派遣してもらって行うしかないと思いますが、マナーや安全に関して国や文化により捉え方が様々なので非常に難しいと思います。こちらも相当、準備と学習する時間が必要となり軌道にのるまではかなり時間がかかると思います。
- ・放送業として、必要最低限の日本語が喋れること、聞き取れることは重要だと思います。
- ・私たち、事業所サイドは受け入れたいと考えても、利用者サイドの受け入れがどうか？そのあたりが不安。
- ・N1,N2レベルの日本語力が求められる。
- ・大変そう
- ・日本語の理解度が必要
- ・日本語教育の前に、日本の生活習慣の教育が先かと思えます。また、自社で言葉の教育となると、その分工数が必要になるので、国の教育機関等があればそこで教育して頂きたい。
- ・日本語のスキルが必要
- ・これからは国内の労働力不足は深刻な状況になることが予想され、海外人材を受け入れるために必要と思う。
- ・日本語教育をサポート頂ければ助かります
- ・まずはスキルよりも性格を重視している。管理団体にはこの点を強く申し入れている。
- ・日本語が話せること。
- ・海外人材の受け入れは、考えていない。